

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

入学した生徒が、誇りをもって卒業できるよう、3年間充実した学校生活を送ることができる、自他ともに認める魅力ある学校

普通科・体育科、それぞれの学科の特色を活かしながら、学校行事や部活動、地域交流などの学校におけるすべての活動に積極的に参加し、それらを通して、実行力、判断力、自主性、協調性を備えた心技体のバランスの取れた人材の育成をめざす。

1. 学校行事や部活動を通して、リーダーを養成する。
2. ICT機器の活用など各教科において授業の創意工夫をし、コミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につける。
3. それぞれの学科の特色を活かした学びを通して、自覚と責任を身につけ、将来の目標設定につながるようキャリア教育を実践する。

2 中期的目標

1 「確かな学力」の育成と授業改善

(1)学習意欲・態度を養い、学力の定着と向上を図るため、教育環境を整えて指導・援助する。

(自己診断において、「分かりやすい授業が多い」「授業に積極的に取り組んでいる」の回答がR7年度には共に80%以上とする)

「分かりやすい授業が多い」R2 49% R3 64% R4 70.4%、「授業に積極的に取り組んでいる」R2 71% R3 79% R4 88.2%

- ア 基礎・基本を定着させ、さらなる学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。
- イ 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。
- ウ 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の「質の向上」を通して生徒の学力の向上を図る。

(2)すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。

- ア 全教科においてICTを活用した授業実践を積極的に進める。
- イ 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。
- ウ 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につけさせる。
- エ 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。

(3)生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。

(自己診断において、「適切な進路情報」 R7年度には85%以上をめざす R2 74% R3 76% R4 81.3%

「きめ細かな進路指導」R7年度には70%以上をめざす R2 53% R3 59% R4 61.4%)

- ア 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。
- イ キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。
- ウ 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。

2 安全で安心な学びの場づくりと豊かでたくましい人間性のはぐくみ

(1)自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。

(自己診断において、「本校に入学してよかった」「学校生活が充実している」と回答する生徒をR7年度には80%以上とする。)

「本校に入学してよかった」R2 61% R3 65% R4 70.7%、「学校生活が充実している」R2 85% R3 88% R4 88.5%

- ア 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。
- イ 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。
- ウ 生命や人権を大切にす精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。
- エ 障がいのある生徒の実態把握に努め、個々の教育的ニーズを検討し、合理的な配慮のもと必要な支援をおこない、環境整備に努める。

(2)基本的生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。

- ア 基本的生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるように指導援助し、自立心を育む。
- イ 心身の自己管理をしっかりできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。

(3)集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。

- ア 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養う。また、これらの活動を通して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。
- イ 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることができる能力を育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。
- ウ 学校行事や学年行事を通じて、生徒が主体的に活動に取り組むことにより、積極性や協調性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成をめざす。
- エ スポーツを通して自己の人間力を高めるとともに、集団活動を通してリーダーシップ、フォロワーシップを学び、専門学科としての自覚と責任感を身につけさせる。

3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり

(1)地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。

- ア 地域との様々な関わりの中、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。
- イ 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。

(2)教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。

- ア 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。
- イ 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校PRにおいて、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。

(3)健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。

- ア 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。
(令和7年度までに教職員の平均時間外勤務時間を年次減少させ、令和4年度比6%以上減とする。)(R4累計 52時間55分)
- イ 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 5 年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導等】 学習状況や授業に関して、自己評価が高いとは言えない。 授業以外の放課後や家庭でも学習しているという項目で、肯定的な回答が28.7%。昨年度の回答が32.7%で、自習室としての活用が進んでいるにもかかわらず、このような結果であるということは、一部の生徒は授業以外でも学習に取り組んでいるが、大多数の生徒が自ら積極的に家庭学習等に取り組めていない状況である。 授業がわかりやすいという評価が72.2%であるが、昨年度が81.3%であったことを考えると、授業での動機づけができるように授業力をさらに向上させることが課題である。 図書館の利用率をみると、昨年度8.1%の利用率が今年度は30.2%で上昇している。今年度、図書館を自習室として正式に位置付けている効果であると考えられる。このことから、一部の生徒は授業以外での学習習慣が定着しているが、全体としては浸透していない状況である。</p> <p>【生徒指導等】 「汎愛祭に満足している」という項目に関して、肯定的評価が95.2%である。昨年度は92.5%であり、コロナ前と同様に戻して開催をした結果である。制限の無い状態で実施された学校行事に対する肯定的な回答率は非常に高い。また、それに伴う団活動への取り組みも、91.5%の生徒が積極的に取り組んだと答えており、昨年度の88.8%を上回った。学校行事に対する生徒たちの意識と満足度がかなり高いと思われる。 生徒自身が充実した学校生活を送っているという項目に関しては、92%の生徒が肯定的であり、満足度が高いと思われる。ルールや校則を守っている生徒が93.6%いる中で、校則やきまりが妥当ではないと考えている生徒が38.9%いる。4割近くの生徒が、今の校則やきまりに否定的な評価をしている。これは今現在、生徒指導部を中心に校則やきまりについて見直しを図るとともに、生徒会を通じてこれらのルールに関して考えているところである。 いじめに関する事項であるが、高校生になってから人をいじめたりいじめられたりしたことがあると答えた生徒が4.8%存在する。各学期に実施しているいじめアンケートにおいて、全てを拾いあげることが出来ていないのではないかと考えるが、こういう意識がある生徒を救える環境を整備する必要がある。そのひとつとして教育相談体制の一助となるのがスクールカウンセラーであるが、カウンセラーが月一回来ていることを知っている生徒は、約6割である。利用率となると、4.6%である。より利用しやすい環境を整えていく。SNSの利用率をみると94.6%の生徒が利用している。SNSでのトラブルの多さを考えるとSNSに関する指導はさらに必要である。</p> <p>【学校運営】 職場で、人間関係の悩みを抱えている教職員は、13.5%いる。昨年度よりは少なくなっているとはいえ、86.5%の教職員は働きやすいと考えていることも鑑みて、職場環境を整えるうえで着目すべき点である。 連携した校務運営や教職員の共通理解による教育活動の改善という項目において、昨年度より低く60%前後であることが象徴している。本校の課題を全教職員で共有しながら、教育活動を進めていくことがさらに必要である。</p>	<p>【第1回学校運営協議会 令和5年7月12日(水)】 「令和5年度経営計画を踏まえた、一学期の状況」 ・定時退庁に取り組んでいるということだが、学校によっては17時までに生徒を帰して、17時に教員が退勤するという取り組みをしているところがあると聞く。いろんな学校で取り組んでいると思われるが、汎愛高校は部活動等に熱心に取り組んでいるので、試合前となるとなかなか難しいところがあると思う。しかし、その一方、評価で観点別評価をすることで、先生方の時間がとられる。大変だと思うが、先生方の健康面を考えて取り組んでいただきたい。 ・図書館活動の充実を図るなかで、蔵書を増やすことを考えておられる。例えば、看護医療コースができたのであれば、看護に関する専門的な本があれば、看護系をめざしている生徒も助かると思う。専門的な本は高価なものが多いので、生徒たちも助かるのではないかと思う。また、公務員試験をめざしている生徒にも、試験に関する専門書などがあれば、助かると思う。 ・蔵書を購入する時には、生徒にアンケートなどをとって、生徒のニーズに合ったものを購入すればいいかと思う。そうすれば、自分たちの希望する蔵書が増えて、図書館に足を運ぶ生徒も増えるのではないかと思う。 ・生徒の図書委員会をもっと活用して、貸し出し業務だけではなく、本の選定などにもかかわってもいいかと思う。 ・大学との連携を深めることは、高校生にはありがたいと思う。連携をうまく使って、生徒自身のやる気や能力を伸ばしてくれたらいいと思う。 ・学校のPRも非常に大切だと思う。これから説明会などがあるということだが、そういうところで、汎愛高校のいいところをもっとアピールして、ぜひ、生徒を集めるようにしていただきたい。 ・新しいパンフレットを見ると、汎愛高校らしい、元気あふれる様子がよくわかる。このようなものをたくさん使って、ぜひ、今後も汎愛高校をアピールしてほしい。</p> <p>【第2回学校運営協議会 令和5年12月19日(火)】 「令和5年度「学校経営計画」の進捗状況について」 ・知人が汎愛の体験入学に参加したらしくて、非常によかったという感想を聞いた。他校のものより充実していたようである。少しでも、汎愛の良さを外部から聴くと、関係者としては嬉しい。先生方がいかに広報活動に力を入れているかよくわかった。 ・勤務時間について、時間外勤務時間を拝見すると、民間よりもかなりひどく感じる。先生方が倒れてしまつては、元も子もなくなるので、労働環境の整備はもちろんのこと、先生方の健康面をしっかりとケアしてほしい。ストレスチェックなどをよくみて、先生が倒れることのないようにしてほしい。 ・地域の連携が徐々に復活している状況はすばらしく感じる。汎愛高校の周囲に幼稚園・小学校・中学校が存在するという環境は、地域連携をするにふさわしい環境であると感じる。榎本幼稚園との出前授業や園児たちが高校へ訪問するという行事は、今後も続けてほしい。 ・中学校との連携もぜひしたいと考えている。以前、お話をいただいた、汎愛高校のトレーニングルームを使用するというのも、本格的に話を進めていきたい。 ・退学者について、どれくらいいるのか知りたい。中学校から送り出した側としては、高校に入学した生徒たちがそのままできているのかどうか、心配である。また、なぜ退学したのかを知りたい。 →転退学者は毎年いる。特に一年生において、ミスマッチが発生した時にどうしても本校で続けることができなくなるということになってしまう。今年度も、体験入学や学校説明会に参加せずに本校に入学した生徒が、思っていたことと違うということで、転退学に結びついてしまった。なんとか、引き留めようとしたが、続けていく自信がなくなったということで、やはり受験の際に、丁寧に説明していく必要があると感じている。そのためにホームページなどで、中学生に呼びかけ、少しでも本校を体験したうえで受験してもらえるように広報活動をしたい。 ・進路状況をみると、なかなか多彩な進路に進んでいるように思う。企業によっては、汎愛高校が良いからという理由で求人をしてくれるところはありがたいところである。より、生徒たちの夢を叶えられるようにしてほしい。</p> <p>【第3回学校運営協議会 令和6年3月22日(金)】 【令和5年度 学校経営計画及び学校評価】 ・コロナもひと段落して、PTA活動も以前と同じようにできるようになってきた。PTAの役員は、子どもたちのためにという意識をもって、ほぼボランティアで活動を行っている。しかし、PTAの活動は、学校側の協力なくして成り立たないことが多くある。そのため、先生方もぜひ積極的にPTA活動に参加してほしい。もちろん働き方改革のこともあるので、すべての活動にということはいかなるかもしれないが、ぜひその点を考えてほしい。 ・学校側としては、校内の体制を立てることにこの一年は腐心してきたが、元々、汎愛高校のPTAでは教員も含めて各委員会に先生方が入っているという形をとっている。それを踏襲しながら、次年度は学校側も組織だってPTA活動に参画できるように考えている。 ・中学校や小学校でも、PTAの役員になれる人が減ってきている。PTA活動が成り立たなくなっている学校もあると聞いている。生徒数が多い学校でもPTAの役員が減っている。PTAのあり方から考えていかなければならない時期になっているのかもしれない。 ・登校時間にこの辺の会社が荷物の搬入で道をトラックで占領している様子が見られる。</p>

府立汎愛高等学校

小学生も中学生も高校生もそのトラックをよけて歩いたり自転車に乗ったりしているので危ない。学校として警察へ申し入れることはできないのか、検討してほしい。登校時の安全を図るためにもう少し考えたらどうかと思う。もし無理なら地域として申し入れることも考えたい。

- ・部活動と働き方改革とは相いれないところがあるのではないかと。顧問の先生がやる気をもって部活動に取り組んでいると思うが、勤務時間のことを考えると難しい。それならもっと人を多く配置すれば解決するのではないかと。時間外勤務時間が長いということは、それだけ先生方の負担があるということなので、もっと人がいることを訴えていけばいいのではないかと考える。

- ・自習室を利用している生徒が多い中で、家庭学習の意識が低い。その割には授業の満足度が高いということは、授業で分かったつもりになっていて、それで満足してしまっているのではないかと。その兼ね合いが難しいが、自分で学習する習慣づけをつけるのも大事だと思う。

- ・健康診断の後、自分で受診している率が非常に低い。1・2年生が部活動のために受診するのが低いということであるが、やはり生徒の健康管理も大切なことなので、何か方策を考えてほしい。

【令和6年度 学校経営計画及び学校評価・スクールミッション】

- ・幼小中高が地域に固まっているという地の利にあることから、より地域連携を深めていければよいと思う。なかなか高校は、地域とのつながりという点で欠けていることが多いが、汎愛高校はそのような地理的なところからも、より地域に根差した学校として発展してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	(1) 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。			
	ア 基礎・基本を定着させ、さらなる学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。	ア・年2回の公開授業期間において他の教員の授業見学を行い、自らの授業改善・授業力向上を図る。	ア・授業見学を年間4回以上行う教員を65%以上。 [59%]	ア・4回以上行った教員は96%。 授業の相互観察は定着しているが、次年度は更に相互観察が進むよう取り組みたい。(◎)
	イ 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。	イ・生徒の学ぶ意識・姿勢の向上のため、チャイムと同時に始業の挨拶をすることを周知、徹底する。	イ・生徒向け自己診断において、「私は始業のベルが鳴ると、教室で着席している」の項目で肯定的評価85%以上。 [89.4%]	イ・肯定的な回答は92.0%。(◎)
		・家庭学習のための課題等を提示することで、授業以外での学習習慣を定着させる。	・生徒向け自己診断で、「授業以外でも学習に取り組んでいる」の回答を50%以上。 [38.7%]	・肯定的な回答は29.6%。(△) 学習支援クラウドサービスでの宿題の提出状況の月平均値は63%[R4:36%]と家庭学習に取り組んでいる生徒意識は昨年より向上している。
	・令和4年度以降の入学生のカリキュラムについて、より生徒の実態に合うように、教務部・カリキュラム委員会で状況の分析を行い、必要に応じて改善を図る。	・生徒向け自己診断において、「本校は生徒の進路希望に応じた多様な選択科目が設定されている」の項目で、肯定的評価75%以上を維持する。 [76.7%]	・肯定的な回答は83.0%。(◎) 次年度も引き続き選択科目説明会においてきめ細かな説明を行い、自身の進路に応じた科目選択ができるよう支援する。	
ウ 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の「質の向上」を通して生徒の学力の向上を図る。	ウ 教科としての目標を設定し、指導方法の改善を常に図り、生徒の学力向上に結び付ける。そのため、教科会を定期的に関し、指導法や評価法について意見交換を行い、職員研修等で情報共有をする。	ウ・生徒向け自己診断において「分かりやすい授業が多い」の項目で、肯定的評価を75%以上とする。 [70%]	ウ・肯定的な回答は72.1%。(△) 各教科において、指導方法や評価方法について話し合っており、授業の相互観察も含めて引き続き教育力の向上に取り組む。	
(2) すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。				
ア 全教科においてICTを活用した授業実践を積極的に進める。	ア・ICT機器の導入・運用を推進する。昨年に引き続き、1人1台端末の活用を推進し、近年のトレーニング方法等を指導者・選手が教授できる環境を整える。さらに演習形式の授業を推進し、生徒のプレゼンテーション能力を向上させる。	ア・体育科アスリート演習・スポーツビルディングの授業において、年度末に班別プレゼンテーションの実施。 [新規]	ア・武道コースで実施。(△) アスリートコース・健康スポーツコースでは今年度は高大連携に重点を置いた関係で実施せず。	
	・ICTを活用した実践事例を増やし、教員間で授業活用の情報を共有できるようにする。	・教員の実践報告を、授業公開期間に合わせて年5回実施する。 [新規]	・授業公開期間に合わせて「ICT研修 公開授業」として各教科の代表教員が計14回公開授業を実施。(◎)	
イ 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。	イ・体育科のコース制授業スタートにおいて、ゼミ形式の演習授業を展開する。「スポーツ」を多角的な視点から考察できるように指導するとともに、1年間の学びの振り返りとしてプレゼンテーションの機会を設ける。	イ・卒業論文において、質の高い論文を作成し、全生徒がプレゼンテーションソフトを使用した質の高い発表を2年次から実施する。 [3年次は実施]	イ・2年生ではスライドの作成は行ったが、全員の発表は実施しなかった。(△)	

府立汎愛高等学校

	<p>ウ 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につけさせる。</p> <p>エ 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。</p> <p>(3) 生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。</p> <p>ア 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。</p> <p>イ キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。</p> <p>ウ 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。</p>	<p>ウ・体育科の特色ある教育活動を通して、自己の将来の目標を定め、卒業後の自己実現に向けて努力する生徒を育てる。</p> <p>エ・専門学科の各行事・実習において、達成感・充実感を得られるようにとともに、生徒主体で企画・運営を行い、全員がリーダーシップとフォロワーシップを意識した実習になるよう指導する。</p> <p>ア・進学意識を高めるとともに、公務員講座への参加を促し、進路意識の向上につなげる。</p> <p>・看護医療コース (R6年度普通科3年) の内容充実を図るために、高大連携により早期の意識付けを図る。</p> <p>イ・図書館の活用をさらに進め、自習教室・面接指導の場として卒業後の進路向けの学習センターとして機能させ、生徒の自主的・自立性の育成のための学びの場として位置付ける。</p> <p>ウ 新たなカリキュラムを確実に運用し、コース制の意義を活かした教育活動をおこなう。</p>	<p>ウ・高大連携授業を年間10回以上実施。[8回]</p> <p>エ・各種実習や授業におけるアンケートを実施し、リーダーシップ等に関する項目における満足度80%以上。 [新規]</p> <p>ア・公務員採用試験における合格者を60%以上とする。 [52.6%]</p> <p>・看護医療に係る高大連携授業を、年間3回実施する。[新規]</p> <p>イ・図書館来室者数、図書貸し出し数において、R4年度実績を上回る。 [1269人 785冊]</p> <p>ウ・各コースの新規授業について、生徒の満足度が80%以上。 [新規]</p>	<p>ウ・22回実施。(◎)</p> <p>(アスリートコース 8回 健康スポーツコース 10回 武道コース 4回)</p> <p>エ・3年生 キャンプ実習 100% 2年生 水泳実習 90% 3年生 卒業論文 100% (◎) 引き続き専門学科の行事・実習の充実に取り組む。</p> <p>ア・合格率は50% (△) (3月10日現在で12人中6人合格) 公務員への関心は高く、引き続き公務員講座の取組みは行っていく。 ・3回実施。(○) 2年生2回、1年生1回。</p> <p>イ・図書館の利用状況(3月1日現在) 【来館者数】2,697名 (授業利用を除く) 【貸出冊数】976冊 特に来館者数は、自習室での利用の増加により昨年度実績を大きく上回った。(◎)</p> <p>ウ・肯定的な回答は100%。(◎)</p>
<p>2 安全 で 安心 な 学 び の 場 づ く り と 豊 か で た く ま し い 人 間 性 の は ぐ く み</p>	<p>(1) 自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。</p> <p>ア 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。</p> <p>イ 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。</p> <p>ウ 生命や人権を大切に する精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。</p>	<p>ア・登校指導を全教職員で実施し、挨拶や身だしなみ整えることができるよう指導援助し、また集団生活におけるルールを守る態度を育て、生徒の規範意識を高める。</p> <p>イ・教育相談体制を整え、より一層生徒が相談しやすい環境づくりをおこなう。また、必要に応じて、SCやSSWを活用し、より生徒に寄り添った指導ができるようにする。</p> <p>ウ・情報モラル講習会を通して、生徒自ら情報がモラルを守ることが出来る正しい知識を身につける。また、SNSの取り扱いについても細心の注意を払い自らが加害者になることのないよう情報セキュリティの意識向上に努める。</p>	<p>ア・生徒向け自己診断で 「あいさつができる」 「本校に入学してよかった」 「学校行事が充実している」 の回答を共に80%以上。 [88.5%, 70.7%, 89.1%]</p> <p>イ・生徒向け自己診断で 「本校には親身に相談に乗ってくれる先生がいる」 の回答が60%以上。 [57.2%]</p> <p>ウ・SNSに関する研修会を年間2回実施。[新規]</p>	<p>ア・肯定的な回答は 「あいさつができる」 90% 「本校に入学してよかった」 79% 「学校行事が充実している」 93% 「本校に入学してよかった」は80%以上にはならなかったが、昨年より向上している。(△)</p> <p>イ・肯定的な回答は68%。(○)</p> <p>ウ・計画通り2回実施。(○)</p>

	<p>(2) 基本的な生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。</p> <p>ア 基本的な生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるよう指導援助し、自立心を育む。</p> <p>イ 心身の自己管理をしっかりとできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。</p> <p>(3) 集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。</p> <p>ア 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養う。また、これらの活動を通して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。</p> <p>イ 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることができるよう育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。</p>	<p>・いじめの未然防止に向け、生徒への講話を通じて人権意識を向上させる。いじめアンケートを通していじめの実態把握・早期発見に努めるとともに、あらゆる差別問題が重大な人権侵害であることを確認し、人権に関して理解を深める。また、生徒に「命の大切さ」を実感させ、「生きる」ことの意味を一人ひとりが考えることができる研修会を実施する。</p> <p>ア・基本的な生活習慣の確立を促し、年間5回の遅刻防止強化週間を設けるとともに、年間を通して特別な理由のない遅刻者の減少に取り組む。</p> <p>イ・健診等を通じて生徒の健康管理意識を向上させるとともに、自ら積極的に自分の体について管理・理解させるように指導する。</p> <p>ア・生徒会活動の充実を図り、計画的に会議の運営と広報活動に努め、生徒の主体的な行事となるよう指導する。</p> <p>イ・団活動を行うことで、学年相互の人間関係の築き、生徒間の相互理解を深める。また、年間の活動を通して、生徒自らが考え行動する姿勢を養う。</p>	<p>・生徒向け自己診断で「私はまわりのひとに思いやりをもって接している」の回答 90%以上を維持。 [95.0%]</p> <p>ア・年間遅刻数の延べ人数を昨年度より減少させる。 [680]</p> <p>イ・健診で受診勧告を受けた生徒の40%以上が事後処置を行う。[41%]</p> <p>ア・生徒議会の内容を精査し年間4回以上計画的に実施。 [4回]</p> <p>イ・生徒向け自己診断における肯定的な回答が80%。 [78%]</p>	<p>・肯定的な回答は97%。(○)</p> <p>ア・年間遅刻総数は1,160件(3月1日現在)。(△) 基本的な生活習慣の確立や日頃の体調の管理等、引き続き指導を行う。</p> <p>イ・39.4%(△) 次年度も引き続き、年間を通じて受診するよう促していく。</p> <p>ア・4回実施。(○)</p> <p>今年度は生徒会執行部のランチミーティングを週1回実施し、生徒間のコミュニケーションを図っている。</p> <p>・肯定的な回答は84%。(○)</p>
3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり	<p>(1) 地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。</p> <p>ア 地域との様々な関わりのなかで、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。</p> <p>イ 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。</p>	<p>ア・地域連携や校種間連携を通じて、生徒の社会性や能力を伸ばす。また、HPにより本校の魅力・さまざまな取組を発信する。</p> <p>イ・親子武道教室の開催や鶴見区民まつりへの協力を通して地域との連携を深める。また、生徒主体のイベントにすることで、生徒のリーダーシップやフォロワーシップを養う。</p>	<p>ア・HPの閲覧数が令和4年度水準を上回る。 [186回/日]</p> <p>イ・生徒アンケートにおいて「積極的に取り組めた」の項目で80%以上を維持。 [88%]</p>	<p>ア・180回/日(3月8日現在)。(△) 引き続き効果的な情報発信に取り組んでいく。</p> <p>イ・肯定的な回答は100%。(◎)</p>

<p>(2)教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。</p> <p>ア 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。</p> <p>イ 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校 PR において、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。</p> <p>(3)健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。</p> <p>ア 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。</p> <p>イ 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。</p>	<p>ア・学校運営上の課題解決に向けて、各分掌、委員会のつながりを強化する。</p> <p>イ・学校説明会・教員対象説明会・体験入学を継続して行い、本校へ来校する中学生・保護者の人数を確保する。</p> <p>ア 安全衛生委員会を中心に、教職員の健康状態並びに勤務状態を把握するとともに環境整備に取り組み、全教職員が健康で良好な職場環境で勤務できるようにする。</p> <p>イ 学校全体の現状把握および改善に至る具体的方策を検討し、各部や学年と連携して教育活動の推進を図る。</p>	<p>ア・教職員向け自己診断の「分掌内、分掌間で連携をとっている」の項目で肯定的評価を70%以上。 [65.2%]</p> <p>イ・参加する生徒保護者数が昨年度を上回る。 [学校説明会 841 名 体験入学 405 名]</p> <p>ア 長時間勤務対象者の減少。1月までの平均時間外勤務時間を50時間以内、かつ80時間超教員の割合20%以下。 [57時間57分、32%]</p> <p>イ 教職員向け自己診断の「教職員の共通理解のもと教育活動の改善に努める」が、70%以上。 [70%]</p>	<p>ア・肯定的な回答は62%。(△) 運営委員会を中心に更なる情報共有を行い、校内連携を進めていく。</p> <p>イ・ 学校説明会 916名 体験入学 607名 (◎) 2月3日(土)に今年度最終の学校説明会を実施。</p> <p>ア 1月末までの平均時間外勤務は46時間27分また、80時間超の教員の割合は21.5%。(△) 平均時間外勤務は改善できたが、引き続き一部の教員への負担が偏らないような取組みを進める。</p> <p>イ 肯定的な回答は59%。(△)</p>
---	--	---	--